

教育委員会

教育行財政	X VI - 1
学校教育・社会教育	X VI - 3
博物館	X VI - 11
図書館	X VI - 16
学校人権教育	X VI - 21
教育・視聴覚センター	X VI - 23

教育行財政

● 教育委員会開催状況

(令和4年)

会 議	議 案 件 数
14回	35件

● 審議状況

(令和4年)

		制 定	廃 止	全部改正	一部改正
条 例		2 件	—	—	2 件
規 則		2 件	—	—	6 件
規 程		1 件	—	—	1 件
要 綱		—	—	—	—

● 市内の教育機関

(令和4年5月1日現在)

校 種	市 立		県 立		私 立		合 計	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
四年生大学	一校	— 人	一校	— 人	2校	1,339人	2校	1,339人
短期大学	—	—	—	—	1校	124	1校	124
高校全日制	—	—	9	6,538	3	2,381	12	8,919
定時制	—	—	2	635	—	—	2	635
通信制	—	—	1	1,005	1	700	2	1,705
中学校	22	7,564	—	—	3	664	25	8,228
小学校	37	15,253	—	—	1	363	38	15,616

● 市内児童・生徒数の推移（公立）

(令和4年5月1日現在)

年度	小 学 校	中 学 校
	計	計
平成22	18,136	8,659
23	17,795	8,811
24	17,523	8,886
25	17,299	8,822
26	16,843	8,748
27	16,513	8,828
28	16,285	8,667
29	16,185	8,345
30	16,133	7,920
令和元	15,865	7,871
2	15,737	7,760
3	15,453	7,785
4	15,253	7,564

● 教育費

(単位：千円)

費 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教 育 費 (A)	10,703,718	11,400,741	16,258,366
教 育 総 務 費	3,528,576	3,049,032	3,156,959
小 学 校 費	3,282,717	4,564,135	5,142,070
中 学 校 費	2,194,630	2,043,328	5,469,188
幼 稚 園 費	750,183	654,909	595,841
社 会 教 育 費	947,611	1,089,337	1,894,307
保 健 体 育 費	—	—	—
一 般 会 計 歳 出 額 (B)	152,689,707	132,097,278	130,708,289
一般会計の中で教育費の占める割合 (A/B)	7.0%	8.6%	11.7%

※他部局での執行分を含む。

※数値は四捨五入していますので、合計が合わない場合があります。

● 児童・生徒1人当たり教育費 ※いずれも建設関係費を除く。(単位：円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	142,778	142,768	218,382
中学校	122,982	131,163	156,680

● 学校施設整備状況 (主要建設事業)

(単位：千円)

年 度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事 業		校	事業費	校	事業費	校	事業費
小学校	校 舎 新 増 築	1	231,342	1	340,717	1	433,416
	大 規 模 改 修	—	—	9	1,238,242	11	1,156,775
	空 調 施 設 整 備	37	43,040	37	34,624	35	3,184
中学校	校 舎 新 増 築	—	—	—	—	—	—
	大 規 模 改 修	2	316,080	2	178,336	4	352,855
	空 調 施 設 整 備	22	21,973	22	16,954	19	1,889

● 学校備品の整備状況

(単位：千円)

校 種	区分 (備品)	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		一般	新築・改造	一般	新築・改造	一般	新築・改造
小学校	理科教育等教材・管理	37,570	—	41,471	—	28,111	—
	保 健	7,236	—	1,558	—	1,591	—
	給 食	25,381	—	21,898	—	16,265	—
中学校	理科教育等教材・管理	44,878	—	23,894	—	26,583	—
	保 健	928	—	857	—	916	—
	給 食	—	—	—	—	—	4,926
合 計	97,342	0	89,678	0	73,466	4,926	

学校教育・社会教育

[学校教育]

● 第4次四日市市学校教育ビジョン【令和4年度～令和8年度】

- 目指す子どもの姿 「夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども」
子どもが自らの人生を拓き、生き抜く力を身に付け、豊かで充実した人生を送ることができるよう「生きる力」「共に生きる力」を育むことを基本理念に据える。

- 「夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども」実現のための5つの基本目標

・子どもにつけたい力

(1) 確かな学力の定着

学習や生活の基盤となる言語能力、社会人になっても通用する問題解決能力、情報社会に主体的に参画する情報活用能力を育成する。

(2) こころとからだの健全な育成

子どもたちが生涯を通じて心身ともに充実した生活を送ることができる力を育成する。

(3) よりよい未来社会を創造する力の育成

地域に愛着と誇りを持ち、持続可能で暮らしやすい未来社会を担う自立した人間に成長できるよう、社会とのつながりを意識した教育活動を進める。

・子どもの学びを支える学校づくり

(4) 全ての子どもの能力を伸ばす教育の実現

誰一人取り残すことのない学びの保障に向けて、子ども一人一人が、それぞれのニーズに応じた学習の機会を得られるよう、全ての子どもの能力を伸ばす教育の実現を目指す。

(5) 学校教育力の向上

学校と家庭・地域・関係機関・専門家が連携し、「チーム学校」としての組織力を強化することで、学校教育力の向上を図る。

● 令和4年度～学校教育指導方針

(指導の力点) 生きる力・共に生きる力の育成

- ・コロナ禍での教訓を踏まえた、誰一人取り残さない“学びの保障”
- ・これからの社会を生き抜くための“非認知能力の育成”

(具体方針)

確かな学力の定着

主体的・対話的で深い学びの実現 ICT活用による情報活用能力の育成 言語活動の充実による読解力・表現力の育成 筋道立てて説明できる論理的思考力の育成 英語コミュニケーション能力の育成 就学前教育の充実

こころとからだの健全な育成

人権教育の充実 道徳教育の充実 読書活動の充実 体力・運動能力の向上 健康教育の推進 食育の推進

よりよい未来社会を創造する力の育成

キャリア教育の充実 四日市の資源を生かした教育の推進 持続可能な社会を目指す教育の充実 防災・安全教育の推進 現代的な諸課題に対応する教育

全ての子どもの能力を伸ばす教育の実現

特別支援教育の充実 日本語指導が必要な子どもへの指導の充実 不登校児童生徒への支援

学校教育力の向上

学校・園経営の充実 生徒指導の充実 学びの一体化の推進 地域と協働した学校づくり 教職員の資質・能力の向上

● 特別支援教育

1. 特別支援学級の設置状況 (R4. 5. 1 現在)

学級の種類	小学校		中学校	
	校数	学級数	校数	学級数
知的障害	31	41	16	18
自閉症・情緒障害	36	43	21	23
肢体不自由	10	10	4	4
弱視	1	1	0	0
難聴	2	2	1	1
病弱虚弱	1	1	0	0
通級指導教室 (言語)	3	7	0	0
通級指導教室 (情緒等)	5	7	3	3

2. 特別支援学級在籍児童生徒数 (R4. 5. 1 現在)

区分	知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	弱視	難聴	病弱虚弱	計
小学校	212	210	13	2	6	1	444
中学校	78	106	4	0	4	0	192
計	290	316	17	2	10	1	636

● 保健・給食

学校給食は、成長期にある児童生徒にバランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康の増進と体位の向上を図り、正しい食事のあり方や望ましい食事習慣を身につけさせ、生涯を通じて健康で活力のある生活を送るための基礎を培うことを目指している。

・主食は、地場産の特別栽培米の米飯給食を週3回実施している。パンは県内産小麦粉を30%混入して地元業者で焼いたパン給食を週2回実施している。

・副食は「みえ地物一番給食の日」を中心に、旬のもので可能な限り地場産物を使用し、日本の伝統料理や郷土料理を取り入れている。

・中学校22校では市教育委員会が栄養バランスのとれた献立作成や食材の選定に十分に関わって、民間給食業者によるデリバリー方式の給食を実施している。

また、成長期にある中学生によりふさわしい給食を提供するとともに、給食を通じて食育や地産地消を推進するため、全員喫食を前提とした食缶方式による中学校給食を目指して、令和5年4月稼働を目標に、(仮称)四日市市学校給食センターの整備を進めている。

1. 学校給食実施状況

(令和4年度)

区 分	小 学 校	中 学 校 (ケイパツチカ)
実 施 校 数	37校	22校
対 象 人 員	15,253人	7,564人

調理員数	※ 255人	—
1食当たり額	パン	58円
	米飯	62円
	牛乳	55円
	パン副食	149円
	米飯副食	145円
1食当たり経費	262円	300円
年間実施回数	189回	180回
徴収額 (1食)	高学年	256円
	低学年	268円
		300円

※調理員内訳 正職員27人 再任用職員11人 パート職員84人 民間委託133人

2. 栄養摂取量 (小学校) (令和4年度)

エネルギー	624kcal	
たん白質	26.0g	
脂質	18.6g	
カルシウム	362mg	
ビタミン	A	205 μgRE
	B ₁	0.47 mg
	B ₂	0.57 mg
	C	30 mg

3. 学校災害件数及び医療費給付額 (金額単位：千円)

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
小学校	758	9,674	701	14,493	776	8,307
中学校	844	9,288	780	11,896	803	10,816
合計	1,602	18,962	1,481	26,389	1,579	19,123

4. 保健担当者一覧 (令和4年5月1日現在)

職名	配置状況	人員数
学校医	1校・園1人、児童・生徒数660人以上の学校は2人配置	52人
学校歯科医		70人
学校薬剤師	各園・小・中学校1人	34人
保健主事	各小・中学校1人	59人
養護教諭	各小・中学校1人 (海蔵小・大矢知興譲小・常磐西小2人) (常磐小学校巡回養護を含み2人)	63人

5. 年齢別体位と平均値

(令和4年度)

区 分	男 子				女 子				
	身長 (cm)		体重 (kg)		身長 (cm)		体重 (kg)		
	全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市	
幼	5	111.1	111.9	19.3	19.6	110.2	109.9	19.0	18.9
小	6	117.0	117.0	21.8	21.6	116.0	115.8	21.3	21.0
	7	122.9	122.6	24.6	24.4	122.0	121.4	24.0	23.7
	8	128.5	128.3	28.0	27.8	128.1	127.7	27.3	27.0
	9	133.9	133.5	31.5	31.2	134.5	133.6	31.1	30.7
	10	139.7	139.0	35.7	35.3	141.4	140.8	35.5	34.7
	11	146.1	145.8	40.0	40.1	147.9	147.5	40.5	40.2
中	12	154.0	153.8	45.7	44.7	152.2	151.6	44.5	44.1
	13	160.9	160.3	50.6	49.8	154.9	154.7	47.7	46.8
	14	165.8	165.9	55.0	54.9	156.5	156.4	49.9	49.4

● 奨学金事業

四日市市奨学金（令和4年度からの新制度）

1. 支給内容

（令和4年度）

対象者	経済的理由により就学困難な四日市市民又はその子	
支給金額	月額奨学金 (1/2給付、1/2貸与)	【高等学校等】 12,000円／月 【大学等】 24,000円／月
	入学支度金 (全額給付)	【高等学校等】 40,000円（新規入学者のみ） 【大学等】 50,000円（新規入学者のみ）

2. 支給状況

令和4年度新規支給者数

【高等学校等】 45名

【大学等】 39名

3. 奨学金(貸与分)の返還

返還開始日	返還期間	返還方法	返 還 日
支給終了の翌日の翌年度	10年	年賦	年1回（8月頃）

※基準日に奨学生本人が四日市市内に在住していることで各年度の返還を免除

● 私学助成

（令和4年度）

区 分	教育補助
小・中学校、 高等学校等	市内在住児童・生徒1人年額
	市内に設置されている学校の場合 3,800円
	市外に設置されている学校の場合 3,000円

● 就学援助

令和4年度実績

（単位：円）

経済的な理由によって公立の小学校及び中学校に就学することが困難な児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の援助を行う。

区 分	金 額
小 学 校	134,138,807
中 学 校	90,255,570
計	224,394,377

1. 小学校

(令和4年5月1日現在)

校名	所在地	創立年月日	教職員数(人)	児童数(人)	学級数		保有教室数	
					普通	特支	普通	特別
中部西	北町 2-23	明 5. 3. 15	30	344	12	5	17	6
浜田	北浜田町 13-6	明 8. 9. 20	28	449	16	2	18	7
橋北	川原町 25-22	平 25. 4. 1	14	171	6	1	7	6
海蔵	大字東阿倉川 578-1	明 8. 7. 1	36	657	21	3	24	6
塩浜	塩浜町 1	平 26. 4. 1	16	185	7	2	9	6
富田	富田一丁目 24-49	明 20. 7. 1	40	707	23	4	27	7
富洲原	富洲原町 31-14	明 9. 9. 30	25	393	13	2	15	8
羽津	大宮町 16-35	明 7. 5. 10	29	516	17	3	20	7
常磐	城西町 9-14	明 8. 12. 5	39	673	21	4	26	7
日永	日永四丁目 5-13	明 8. 11. 10	35	643	21	3	24	6
四郷	西日野 3207-1	明 9. 2. 4	32	464	16	5	21	6
内部	采女町 888-1	明 7. 2. 3	24	419	13	3	16	7
小山田	山田町 1373-1	明 8. 12. 1	15	167	6	1	7	6
河原田	河原田町 70	明 8. 11. 9	23	322	12	2	14	6
川島	川島町 2046	明 8. 11. 28	28	554	17	2	19	6
神前	曾井町 493-1	明 8. 2. 4	20	229	8	2	10	6
桜	桜町 1257	明 8. 7. 1	26	330	12	2	14	6
県	赤水町 1002	明 7. 5. 4	23	292	12	2	14	6
三重	東坂部町 222-2	明 8. 11. 1	29	526	18	3	21	6
大矢知興讓	大矢知町 1212	明 7. 3. 16	45	835	26	5	31	7
八郷	平津町 99-1	明 25. 6. 1	23	364	13	2	15	6
下野	朝明町 475-1	明 9. 3. 1	29	515	16	2	18	7
保々	西村町 2741	明 7. 4. 25	25	333	12	3	15	7
水沢	水沢町 2491	明 8. 12. 4	14	125	6	1	7	6
高花平	高花平二丁目 1	昭 38. 5. 7	17	210	8	3	12	6
泊山	大字日永 5530-19	昭 46. 4. 1	25	368	12	4	16	6
笹川	笹川六丁目 25	平 31. 4. 1	36	438	14	5	20	6
常磐西	大字松本 764	昭 48. 4. 1	42	811	25	3	28	6
三重西	三重三丁目 129	昭 50. 4. 1	25	365	12	3	15	7
大谷台	大谷台一丁目 204	昭 50. 4. 1	28	543	17	2	19	7
桜台	桜台一丁目 32	昭 52. 4. 1	21	282	11	2	13	7
三重北	山之一色町 90	昭 53. 4. 1	17	160	6	1	7	7
八郷西	萱生町 1086	昭 53. 4. 1	13	176	6	1	7	6
羽津北	大字羽津 500	昭 57. 4. 1	29	550	17	3	20	6
内部東	采女町 423-4	昭 59. 4. 1	34	590	20	3	23	6
中央	元新町 2-36	平 7. 4. 1	16	128	6	1	7	8
楠	楠町北五味塚 2060-9	明 8. 11. 20	27	419	13	3	16	8
合 計 [37校]			978	15253	511	98	612	240

2. 中学校

(令和4年5月1日現在)

校名	所在地	創立年月日	教職員数 (人)	生徒数 (人)	学級数		保有教室数	
					普通	特支	普通	特別
中部	西浦二丁目 5-36	昭 22. 4. 15	26	297	10	2	12	8
橋北	高浜町 1-4	昭 22. 4. 15	12	88	4	1	5	8
港	十七軒町 10-41	昭 22. 4. 15	19	205	7	2	9	8
塩浜	大字塩浜 4096	昭 22. 4. 15	15	79	3	1	4	10
山手	大字東阿倉川 70	昭 22. 4. 15	42	605	18	3	21	9
富田	東茂福町 4-19	昭 22. 4. 15	24	331	10	2	12	8
富洲原	天ヶ須賀五丁目 3-10	昭 22. 4. 15	21	215	7	2	9	8
笹川	西日野町 268-2	昭 22. 4. 15	34	456	14	5	19	9
南	前田町 18-17	昭 22. 4. 15	34	503	16	3	19	11
三滝	高角町 2068-2	昭 22. 4. 1	30	441	13	2	15	9
大池	下海老町 2662-1	昭 22. 4. 1	36	538	16	2	18	9
朝明	平津町 409-2	昭 22. 4. 1	37	545	16	3	19	9
保々	西村町 2787-2	昭 22. 4. 15	17	163	6	1	7	8
常磐	大字松本 810	昭 48. 4. 1	40	671	19	2	21	10
西陵	西山町 7229	昭 51. 4. 1	16	179	6	1	7	8
西笹川	笹川四丁目 104	昭 51. 4. 1	26	185	6	2	9	8
三重平	三重八丁目 1	昭 52. 4. 1	19	209	7	1	8	9
羽津	大字羽津甲 26	昭 54. 4. 1	35	488	15	3	18	8
西朝明	北山町 1169	昭 54. 4. 1	24	299	9	2	11	8
桜	桜町 1064	昭 57. 4. 1	26	307	10	2	12	9
内部	波木町 697	昭 60. 4. 1	31	501	16	2	18	9
楠	楠町北五味塚 2092	昭 22. 4. 15	23	259	8	2	11	10
合 計 [22 校]			587	7564	236	46	284	193

※ 「普通」は加配学級・独自学級を含めた実学級数

※ 「特支」は特別支援学級数を示した外数

※ 「教職員数」は市費・県費常勤の職員から代替教員を除いた数

● 私立小・中学校一覧（市内）

1. 私立小・中学校

（令和4年5月1日現在）

学 校 名	所 在 地	創 立 年	教 員 数 (人)	児 童 ・ 生 徒 (人)	学 級 数
暁 小 学 校	蒔田三丁目3-37	昭23	24	363	13
暁 中 学 校	萱生町238	昭23	32	315	9
海 星 中 学 校	追分一丁目9-34	昭31	37	170	7
四日市メリノール学院中学校	平尾町2800	昭39	30	179	6
合 計 [4校]			123	1,027	35

※教員数には兼務者を含む

[社会教育]

<令和4年度主要事業>

1. 社会教育関係団体の支援

四日市市PTA連絡協議会が設立目的にあった活動ができるよう支援した。

2. 学校施設（教室）開放の推進

地域住民の学習活動、地域活動を推進するため、37小学校3中学校で学校施設（教室）開放を行った。

博 物 館

博物館は、貴重な文化遺産の保存と活用を図り、郷土の歴史や風土と生活環境に関する市民の知識と理解を深め、今後の市民文化の創造に寄与する生涯学習の場のひとつとして平成5年11月1日に開館した。

その後、20年が経過し、プラネタリウム投映機器や常設展示の経年劣化が進む中、「四日市公害と環境未来館」の博物館内への併設が決まり、プラネタリウム及び常設展示のリニューアルと一体的な整備を進め、新たな魅力を備えた施設として、平成27年3月21日にリニューアルオープンした。常設展示は、古代から近世までの各時代の特徴を表す建物を原寸大で再現し、時代を体感できる展示として四日市公害と環境未来館の近・現代の展示につなげ、歴史の流れを理解してこれからの四日市を考える場とした。プラネタリウムは、従来の「地球からみた宇宙」という視点から、「宇宙からみた地球、宇宙からみた四日市」という新たな視点で、地上目線では捉えることができない地球環境についても投映し、四日市公害と環境未来館と連携した環境を考える場として特色あるプラネタリウムとした。また、令和5年3月28日には開館以来の観覧者数300万人を達成した。

● 施設概要（平成27年3月21日リニューアルオープン後）

所在地	四日市市安島一丁目3番16号		
敷地面積	1,845.84㎡		
建築面積	1,590.40㎡		
延床面積	10,147.11㎡		
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上6階建		
	6階	373.48㎡	プラネタリウム
	5階	1,340.81㎡	プラネタリウム、コズミックギャラリー、コズミックラウンジ
	4階	1,343.05㎡	特別展示室
	3階	1,251.01㎡	博物館常設展（時空街道、丹羽文雄記念室）
	2階	1,321.33㎡	四日市公害と環境未来館常設展
	1階	1,466.32㎡	エントランスホール、講座室、ショップ、図書スペース、 研修・実習室
	地下1階	1,536.71㎡	収蔵庫、スタジオ、資料整理室、くん蒸室
	地下2階	1,514.40㎡	収蔵庫、設備機械室、電気室、監視室

入館者の状況

年度	開館日	常設展	特別展等	プラネタリウム	合 計	備 考
30年度	287日	50,689人	13,027人	63,389人	127,105人	特別展2回・企画展2回
令和 元年度	285日	44,816人	17,019人	54,079人	115,914人	特別展2回・企画展2回
2年度	255日	18,528人	13,044人	19,457人	51,029人	特別展3回・企画展1回
3年度	260日	29,357人	12,212人	31,344人	72,913人	特別展2回・企画展1回
4年度	169日※	26,924人	13,514人	32,590人	73,028人	特別展1回・企画展1回

※空調設備等更新工事のため休館（令和4年9月1日～令和5年2月10日）

● 博物館事業

1. 常設展

新しい常設展は「時空街道」として、基本テーマを「四日市のまちの発展の歴史と、そこに暮らしの人々の生活の変化」とし、各時代を特徴づける建物を原寸大で再現した体感型の展示に変わった。

〈 時空街道の旅 〉

博物館で扱う原始・古代から近世までの流れを映像で絵巻物のように見せる。

〈 久留倍の村 〉

久留倍遺跡で出土した弥生時代後期の竪穴住居を再現。この村が道に接していたことから奈良時代の朝明郡衙となることを紹介。

〈 四日の市 〉

四日市のまちの発祥となった室町時代の市を再現。店舗の形態や、取引される品物などを紹介。

〈 四日市宿 〉

江戸時代の東海道の宿場町を再現。問屋場、旅籠の他に、間の宿にみられる茶店などを再現。

〈 四日市湊 〉

2階の四日市公害と環境未来館につなぐ展示として、湊で賑わった江戸時代と、明治初年の衰退期、港の修築によって近代港湾となった四日市港のその後の発展を紹介。

〈 丹羽文雄記念室 〉 四日市市名誉市民で、文化勲章受章作家の丹羽文雄の文学と人となりを展示。

2. 特別展・企画展

常設展の内容をさらに深めることを基本として、全国的あるいは世界的な広がりを持つ資料の展示等を中心に様々な分野でのテーマを取り上げ、特別展・企画展を年数回開催する。また、その期間中テーマに沿った講演会・講座を適宜実施する。

〈 特別展等 令和4年度開催〉

- ・特別展 創業 200 周年記念 フィンレイソン展
～フィンランドの暮らしに愛され続けたテキスタイル～
- ・企画展 昭和の暮らし 昭和のおもちゃ

〈 学習支援展示 令和4年度開催〉

- ・ようこそ！時空街道展
- ・四日市空襲と戦時下の暮らし

〈 特別陳列 令和4年度開催〉

- ・館藏品展 I 新収藏品展
- ・共催展 四日市代官所跡出土品展
- ・牧野富太郎が見た四日市「120年の時を超えた植物標本」

3. 教育普及事業

博物館事業に親しみ市民の生涯学習を支援するため、各種講演会・講座・教室を開催する。また、体感型の常設展の案内をする博物館ボランティア、丹羽文雄記念室の語り部ボランティアの活動により観覧

者の展示理解を深めている。さらに、館蔵資料の解説を行う古文書ボランティアの活動も継続して行っている。

4. 資料の収集保存事業

博物館の最も基本的な機能であり、地域の博物館として四日市市に関連のある資料の購入・収集の充実を図り、その保存に努める。

5. 調査研究事業

博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的探求、また、内容豊かな特別展等の開催に資するため、各種情報の収集に努めつつ調査研究活動を行う。なかでも、市内所在の資料・コレクション等の調査、魅力あるワークショップの調査、次年度以降の特別展・企画展調査に重点をおいている。

● プラネタリウム事業

プラネタリウムでは、様々な投映機器を駆使して、観覧者をはるか星空の世界へと誘う。また、移動天文車による観望会を市内各地で行い、身近な所から宇宙を観望してもらう。

1. プラネタリウム投映事業

プラネタリウムでは、5階フロアを宇宙の港（GINGA PORT 401）と位置づけ、宇宙から見た星空や宇宙から見た地球という新たなコンセプトのもとに、約1億4000万個の星を映し出すことができるプラネタリウム機器を平成27年3月に導入し、観覧者をはるか宇宙の旅へと誘う。

四季の星空と宇宙をテーマとした季節番組（一般番組、ファミリー番組）や夜間特別番組を投映し、宇宙や地球環境、最新の機器の特性を生かした満天の星空の世界を提供している。また、ヒアリンググループ受信機の貸出し、車いす用リフトや遮音室を設置し、どなたにもプラネタリウムを楽しんでもらえるように環境を整えている。

《令和4年度季節番組》

〈一般番組〉

- ・宇宙交響曲 138億年をめぐる旅
- ・まだ見ぬ宇宙へ
- ・いのちを探して～コズミッククルーザーで行く金星・木星～

〈ファミリー番組〉

- ・ハローキティ トウインクル☆ムーンライト
- ・忍たま乱太郎の宇宙大冒険withコズミックフロント☆ NEXTやっぱり地球は回っていたの段
- ・ファミリー番組「クレヨンしんちゃん 宇宙からの来訪者 カスカベ大パニック

〈夜間特別投映〉

- ・LIFE いのち『うまれる』ことを再体験
- ・星になるまで～music by ACIDMAN～
- ・ヒーリングアース

〈幼児番組〉

- ・くまのがっこう～ジャッキーのおほしさま～

2. 天文教育普及活動事業

天文教育研修、ガリレオ教室、子ども科学教室、公開観望会など幅広く天文教育普及活動を行う。

3. 天文展示コーナー（コズミックギャラリー）

天文展示コーナーをコズミックギャラリーと位置づけ、JAXA と連携した展示や宇宙から見た地球環境の展示や太陽系から銀河系までの天体情報を未来像も含めて展示し、宇宙へ旅立つ前の高揚感を高める場とした。

4. 移動天文車「きらら号」

口径20cmの天体望遠鏡と直径2mの観測ドームを備えた全国でも数台しかない「動く天文台」として、市内各地に出向き、観望会を実施している。観望会には天文ボランティア（登録52人）が参加協力をする。また、天文現象（流星群など）をとらえた博物館主催の観望会も実施し、神秘的な宇宙の姿を紹介している。また、市民公園での観望会では、平成30年に寄贈され口径25cmの天体望遠鏡も活用している。

● 博物館協議会

博物館法第20条に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置している。令和4年度は定例会を3回開催した。〔委員数14人〕

四日市市楠歴史民俗資料館

この資料館の主要施設である旧庄屋岡田邸は、代々本郷村の庄屋であった岡田家の邸宅であり、いくつかの古文書や神社棟札、文政12年（1829年）の岡田家の古文書に庄屋の記載がみられ、この頃に庄屋職を桑名藩より拝命したと推定されている。また、建物については、敷地内に祭っていた弁財天の社の中に、宝暦10年（1760年）の記載があることから建築年代は18世紀半ば、少なくとも江戸時代中期に、現在の主屋と土蔵が建築され、建築様式から推定すると250年ほど経過していると考えられている。北勢地域においても、歴史的価値が高い建造物であることから、四日市市有形文化財（建造物）に指定されている。平成17年4月に米蔵の跡地に展示棟兼収蔵庫を併設し、資料館として開館している。

● 施設概要

所在地	四日市市楠町本郷 1068 番地		
敷地面積	1,229.23 m ² （資料館 932.23 m ² 、駐車場 297 m ² ）		
建築面積	338.09 m ²	延床面積	448.24 m ²
構造	主屋・立会所	木造瓦葺平屋	209.75 m ² （四日市市指定有形文化財）
	蔵	木造瓦葺平屋	39.08 m ² （四日市市指定有形文化財）
	水屋	木造瓦葺平屋	2.76 m ²
	展示棟兼収蔵庫	木造瓦葺2階建	196.65 m ²

● 施設

旧庄屋岡田邸：主屋・立会所・蔵・水屋
展示棟兼収蔵庫：常設展示室・映像コーナー・企画展示コーナー・事務室・収蔵庫

● 来館者数

平成30年度：6,731人 令和元年度：6,325人 令和2年度：2,509人 令和3年度：2,231人
令和4年度：3,956人

●事業概要

夜間特別開館（夏・秋）、写生大会、おひなまつりコンサート、しめ縄づくり、企画展示コーナー作品展(市内外の文化サークル)、つるし雛とちりめん遊び展、語り部事業など

図 書 館

● 施設概要

- ・所在地 四日市市久保田一丁目2番42号
- ・敷地 4,738.01㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造 地上3階・地下1階
- ・開館 昭和48年7月10日
- ・建物面積 延4,147.42㎡

(令和5年3月末現在)

1階	一般成人室	24席 (新聞雑誌コーナー・参考図書コーナー・軽読書コーナー)
	児童室	28席
	点字・録音資料室	6席
2階	一般閲覧コーナー	31席
	地域資料室	7席
	郷土作家コーナー	10席
	インターネットコーナー	2席
	展示コーナー	
	視聴覚ホール	30席
3階	学習室	70席
	個人学習コーナー	40席
	スナックコーナー	36席 (図書館不用図書リサイクルコーナー・飲食コーナー含む)
	会議室	20席
	研修室	8席

● 業務内容

開館時間	火・水・木・金曜日は午前9時30分～午後7時 (午後5時以降は一般成人、地域資料室のみ) 土・日曜日及び祝日は午前9時30分～午後5時
休館日	毎週月曜日、毎月第2と第4火曜日、特別整理期間 (6月中の約10日間)、年末年始
館外貸出	本市及び三重郡三町の在住、在勤、在学者と桑名市、いなべ市、東員町の在住者を対象として1人10冊以内、15日以内で貸し出しする。
自動車文庫	市内に91カ所の停車場を設け、2台の自動車文庫で月1回 (8月を除く) 巡回し、1人10冊以内で、翌巡回日まで貸し出しする。
資料複写	著作権法の範囲内であれば、申し込みに応じて複写 (複写料: 白黒1枚10円・カラー1枚50円)。ただし、図書館資料 (一部を除く) に限る。
資料相談	電話、文書、来館のいずれも可

● 令和4年度事業報告

幅広く豊富な蔵書があり、人と本をつなぐ司書がいる「市民みんなの図書館」として、新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、市民ひとり一人のニーズに対応できる読書環境づくり、生涯学習の場づくりに努めた。また、図書展示や読書講座の開催、子育て支援のための取り組みなどを通してより多くの市民が利用する図書館となるよう努めた。

1. 『感染症対策を徹底し安心して利用できる環境づくり』

昨年度に引き続き、利用者の方が安心して利用できるように、館内の換気、施設内の定期的な消毒、人と人との間に距離を取るためのフロアマーカ―の設置や座席の間隔をあけるなどの対応を行うとともに、市の「新型コロナウイルス感染症に係る四日市市主催行事等の対応方針」や国・県の方針に対応する形で、来館者が利用しやすくなるような環境づくりに努めた。

また、感染症拡大の状況でたびたび中止になっていた読み聞かせなどの行事も4月から再開し、11月下旬からは1階・2階閲覧室の席数を徐々に戻した。2月からは使用を中止していた視聴覚ホールの使用を再開するとともに、3月末には3階スナックコーナーでの食事利用を再開、学習室の席数も戻していくなど状況に応じて対処した。

2. 『生涯学習に役立つ幅広く豊富な蔵書』

図書資料の整備を図り、18,720冊の図書資料を受け入れた。

また、地域に関する情報発信のため、地域資料の収集に努めた。展示や各種たよりで資料の紹介を行うとともに、講座や研修会・行事などを通して生涯学習の機会を提供した。

3. 『図書館サービスの質的向上』

レファレンスサービスに取り組み、9,214件のレファレンスサービスを行った。

データベース閲覧サービスとして、中日新聞・東京新聞記事データベース、官報情報検索サービス及び国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを開始した。

4. 『生きる力につながる子どもの読書活動』

図書館の中だけでなく、小学校への自動車文庫派遣や、なのはな文庫（学校専用貸出図書）の貸出、子育て支援施設への出前講座などを行うことにより、子どもの読書活動推進に取り組んだ。

また、絵本の複製画展や手づくり絵本講座の開催など、本に親しむ機会を提供した。

5. 『活字での読書が困難な方への図書館サービスの充実』

視覚障害及びその他の障害により読書が困難な利用者のために、点字資料・録音資料等の整備を行った。

また、点訳及び音訳体験講座を開催し、ボランティアの育成に努めるとともに、点字資料や録音資料に関わる図書館ボランティアのスキル向上のため、専門的な研修会を開催するなどの支援を行った。

6. 『新図書館の整備に向けた検討』

新図書館の建設にあたり、現在の当館の課題把握や最新の図書館事例を取り入れるため、新図書館に関する情報収集や先進地視察を行った。

また、近鉄グループがスターアイランド跡地に計画する建物に新図書館等を組み入れることについて市と近鉄グループが合意したのを受け、今後必要な蔵書規模やフロア数に応じたサービス内容を検討するため、当館司書を対象とした勉強会を実施したり、関係課と協議を行ったりして、新図書館のフロア構成・ゾーニング等の検討を始めた。

● 月別事業実施表

月	事業名
4	子ども読書の日企画「絵本の読みきかせ」(16日)／子ども読書の日企画「ザ・男の読みきかせ mini」(17日)／子ども読書の日企画「おはなし会」(23日)／子ども読書の日企画「新刊絵本の読みきかせ」(29日)
5	絵本の読みきかせ「耳をすませて」(7日)／保育幼稚園課講師派遣(13日)
6	おしゃべりえほんの会(3日)／絵本の読みきかせ「耳をすませて」(4日)／「読書に関するエッセー」作品募集(～10月19日)
7	向陽台高等学校講師派遣(1日・11月25日)／絵本の読みきかせ「耳をすませて」(2日)／ライブラリーフレンズ四日市出前講座(6日)／橋北子育て支援センター出前講座(13日)／夏の絵本の読みきかせ(16日)／手づくり絵本講座(21・22・28日)／夏のおはなし会(23日)／夏のおはなしびっくりBOX(27日)／小学生版夏のおはなしぎんのかい(30日)
8	子ども点字教室(5日)／夏のおはなしと読み聞かせ(17日)
9	桜小学校自動車文庫派遣(28日)／中央小学校自動車文庫派遣(30日)
10	四日市農芸高等学校講師派遣(13日・11月11日)／おはなしと読みきかせ(秋のスペシャル)(19日)／点訳・音訳体験講座(22・29・11月5日)／笹川小学校自動車文庫派遣(28日)
11	笹川保育園子育て支援センター出前講座(2日)／河原田小学校自動車文庫派遣(15日)／秋の絵本の読みきかせ(19日)／秋のおはなしびっくりBOX(23日)／子ども読書ネットワーク協議会研修会(23日)／秋のおはなし会(26日)／よみきかせ入門講座「はじめのいっぽ」(27日)
12	おしゃべりえほんの会(2日)／現役運転士に聞く！四日市あすなろう鉄道と運転士の仕事(4日)／図書館教育研究協議会司書派遣(7日)／中部地区市民センター出前講座(16日)／読書に関するエッセー入賞者表彰式(18日)／小学生版冬のおはなしぎんのかい(23日)
1	三重県学校教育図書館研究大会分科会講師派遣(27日)／塩浜子育て支援センター出前講座(31日)
2	音訳専門研修会(8日)
3	児童館児童厚生員研修講師派遣(3日)／点訳専門研修会(24日)／春のおはなしと読みきかせ(29日)

● 過去3年間の利用状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
開館日数		257	247	275
入館者数	年間総数	190,754	194,074	216,965
	1日平均	742	786	789
登録者数	総登録者数	36,177	33,079	24,447
	個人登録者	35,681	32,599	23,975
	(うち15歳以下)	(7,594)	(6,984)	(5,219)
	団体登録者	331	316	306
	点字・録音(個人/団体)	34/131	32/132	32/134
	個人登録率(%) (※1)	11.5	10.5	7.8
貸出者数	貸出者総数	210,741	225,416	256,550
	本館	201,216	215,377	246,711
	自動車文庫	9,032	9,576	9,489
	点字・録音	493	463	350

貸出冊数	貸出冊総数	790,617	839,234	915,987
	本館（※2）	737,751	781,620	856,876
	（うち雑誌）	(27,511)	(26,408)	(26,252)
	自動車文庫	52,265	57,048	58,607
	（うち雑誌）	(769)	(967)	(1,161)
	点字録音資料室	601	566	504
	録音	561	546	492
	点字	40	20	12
	市民1人当り貸出数	2.5	2.7	3.0
調査相談 件数	総数	6,526	7,235	9,214
	口頭	6,451	7,164	9,134
	電話	68	64	69
	文書・メール	7	7	11
予約 リクエスト	総数	68,424	75,548	83,982
	本館（窓口）	13,339	13,824	14,080
	本館（インターネット）	48,719	54,556	62,122
	自動車文庫	6,366	7,168	7,780
複写	件数	599	1,084	1,181
	枚数	3,743	6,549	8,417
人口（各年度の3月31日現在）		310,610	309,338	308,752

※1 個人登録率＝（個人登録者＋点字・録音個人）÷人口

※2 本館は、個人・団体・なのはな文庫等を含む

● 蔵書統計（令和5年3月末現在）

図書区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
本館成人	10,083	6,528	3,555	302,212
本館児童	3,511	1,445	2,066	100,298
本館外国語（成人・児童）	71	112	-41	3,685
本館雑誌（成人・児童）	2,354	1,926	428	25,659
点字・録音資料	114	909	-795	3,061
自動車文庫	2,481	774	1,707	28,802
自動車文庫雑誌	106	100	6	440
総計	18,720	11,794	6,926	464,157

資料区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
その他資料	182	29	153	9,349

● 図書購入費（当初予算）の推移

（千円）

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総 額	134,112	155,222	286,707
図書費	26,625	29,325	31,126
電子書籍費	—	—	51,920
その他資料費	3,430	3,730	3,520

● 四日市まちじゅうこども図書館事業

まちじゅうで、子どもが自然に本に触れられる環境づくりを行い、子どもの読書活動の推進及び本を通じた多世代交流を図るため、四日市まちじゅうこども図書館を平成27年度から市内の店舗や医院、金融機関、事業所等で開館している。令和4年度末時点で104館となった。

なお、この事業は令和3年度まで社会教育・文化財課が所管していたが、機構改革にともない、令和4年度から図書館に移管された。

学校人権教育

人権問題を解決する行動力を育成するための人権教育の充実

人権問題を自らの問題と捉え、身近なことから取り組むとともに、主体的に自己選択・自己決定し、問題を解決する行動力の育成を図ることにより、子どもたちの現在及び将来における自己実現を目指します。また、教職員の人権意識を高め、人権教育における指導力向上を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となった人権教育の推進を図ります。

1. 「四日市市人権教育・啓発基本方針」「第4次四日市市学校教育ビジョン」「学校教育指導方針」を踏まえ、各校園の人権教育推進計画の策定・充実に努める。
2. 各中学校区の「子ども人権フォーラム」でねらいとする【子どもにつけたい力】が、それぞれの小中学校の全ての学年に系統的に位置づけられた人権教育カリキュラムの作成に努める。
3. 校内研修において教職員の学習機会の充実のため、学校人権教育推進人材バンク登録者（人権教育リーダー育成研修修了者）等を活用し、OJTの促進を図る。
4. いじめや差別のない学校づくりに向けて、教職員・保護者を対象に一人一人の人権意識を高める研修を継続する。
5. 中学校区単位で、子ども人権フォーラム・授業交流・情報交換会等の実践を通じて、校園や地域関係組織との連携を一層深める。
6. 人権センター・人権プラザと連携し、部落問題や外国人・障害者・女性・子ども・性的少数者等個別の人権問題の解決に向けた四日市市全域を含むネットワークを構築することで、差別をなくし、子ども・保護者が安心できる教育環境づくりを推進する。
7. 新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別を防ぐための動画や資料を活用した研修を行い、児童生徒一人ひとりが安心して生活が送れるよう、学校での活用を推進する。
8. メディア・リテラシーと人権に関する出前授業の実施（小3・中2）およびリーフレットの配付、教職員研修会の実施を通して、メディア・リテラシー養成を通じた人権教育の推進を図る。

□幼児・児童・生徒の人権活動

- ・ 人権啓発ポスターの募集（対象：保育園児、幼稚園児、こども園児、小学生、中学生、高校生）
- ・ 人権作文の募集（対象：小学生、中学生）
- ・ 中学校区子ども人権フォーラム（対象：小学生、中学生／22中学校区で随時開催）
- ・ 人権のひろば展（12月～1月／展示内容：人権啓発ポスター）

□教職員資質向上・人材育成

- ・ 人権教育推進委員研修会（対象：小・中学校推進委員）
- ・ 人権教育初任者研修会（対象：新規採用教職員全員）
- ・ 人権教育実践研修会（対象：小・中学校教職員）
- ・ 人権教育転入者研修会（対象：市外からの小・中転入教職員等）
- ・ 人権教育リーダー育成研修会（対象：小・中学校対象教職員／3回）
- ・ 人権教育教頭研修会（対象：小・中学校教頭）

□いじめや差別をなくす人権意識向上事業

- ・ リフレット「いっしょに考えよう～いじめ問題～」（保護者編）

□指導用図書及び啓発資料の配付

- ・人権啓発カレンダー
- ・四日市市人権作文集
- ・人権学習教材集 ～新型コロナウイルス感染症を通して学ぶ～

□県・市人権教育推進事業

事業名	対象	期間
市人権教育推進校 指定事業	浜田小、富洲原小、日永小、常磐小、八郷小、保々小、 桜台小、楠小、三滝中、西朝明中	1年
子ども人権文化創造事業・ 自己実現支援事業	日永地区、常磐地区、保々地区、神前地区の 子ども人権文化育成協議会	1年
市中学校ブロック 人権文化創造事業	全中学校ブロック（中学校区の全校園）	1年
〔県委託事業〕 人権教育研究指定校事業	富洲原小学校	1年
〔県補助事業〕 地域と学校の連携・協働体 制構築事業	西笹川中学校区、三重平中学校区、中部中学校区 大池中学校区、楠中学校区、三滝中学校区、朝明中学校区	1年

● 人権・同和教育関係施設状況

施設	所在地・ 電話番号	建設 年月日	構造	建物 延べ面積(㎡)	概要
人権プラザ 赤堀	赤堀三丁目1-21 351-7609	S50.11.7	RC造 2F	260.43	1階 事務所、料理実習室、談話室 2階 ホール
赤堀児童 集会所		S52.3.31	RC造 2F	310.13	1階 ホール、幼児室、事務室 2階 図書室、学習室
人権プラザ 天白	日永二丁目5-15 346-2803	S48.9.30	RC造 2F	253.26	1階 事務所、料理実習室、談話室 2階 ホール
天白児童 集会所		S58.3.31	S造 平屋	258.17	ホール、学習室、図書室、幼児室 相談室
人権プラザ 小牧	市場町1041-24 339-0909	S48.3.15	RC造 2F	301.00	1階 事務所、相談室、料理実習室 2階 ホール、図書室
小牧児童 集会所	339-1287	S50.3.31	S造 平屋	491.96	学習室、図書室、集会室
人権プラザ 神前	寺方町2281 326-0840	S50.4.30	RC造 2F	338.86	1階 事務所、料理実習室、相談室、 談話室 2階 ホール、図書室
寺方児童 集会所	寺方町2251 326-5022	S52.8.31	S造 平屋	562.39	ホール、学習室、図書室、幼児室、 図工室、ステージ、職員室
神前 柔道教室	曾井町494-3 326-4236	S52.5.25	S造 平屋	227.48	柔道場、相撲場

教育・視聴覚センター

● 施設の概要

施設目的	教職員研修、教育課題研究、特別支援教育、教育相談、不登校対策、教育情報環境整備、広報普及、視聴覚ライブラリーの事業を実施して、学校・園の教育の振興を図るとともに、広く市民文化の向上に寄与する。
所在地	諏訪町2番2号 四日市市総合会館 6, 7, 8F 日永東一丁目2-28 四日市市登校サポートセンター
施設	事務室 個別学習室1・2 集団学習室1・2 研究室 情報教育室 会議室 視聴覚ライブラリー 第1～3研修室 視聴覚室 四日市市登校サポートセンター

● 業務内容（令和4年度）

事業名	内容
研究	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課員による課題研究の推進 ○ 教育図書、研究資料の整備、提供 ○ 研究報告書、研究資料、ニュースの刊行
教職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員研修の企画・運営 (教職員研修講座の企画・運営、「教師力向上のために」による自己相互研鑽の推進、若手教員・ミドルリーダー教員・ベテラン教員研修の推進等) ○ 三泗教育研修運営委員会……研究協議会活動、教育研究大会、教育講演会
各種連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三泗教育発表振興会（児童・生徒の発表に関する事務・調整等） ○ 四日市こども科学セミナーの企画・運営 ○ 企業連携・大学連携事業・JAXA連携事業の実施（連絡・調整等）
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校や発達・行動等に課題のある子どもと、その保護者・教職員に対する相談支援(来所相談、学校・園への巡回相談(就学相談を含む)、電話相談、他の相談機関との連携調整) ○ 「わくわく教室」「ふれあい教室」での、不登校児童生徒に対する学校復帰・社会的自立に向けた支援 ○ 嘱託精神科医や小児科医による相談員等への指導・助言 ○ 臨床心理士等によるカウンセリングやプレイセラピー及び諸検査の実施 ○ 学生ボランティア「ふれあいフレンド」による不登校児童生徒への自立に向けた支援活動
情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育情報通信システムの環境整備と活用や運用の支援 ○ 情報教育推進のための調査・研究
視聴覚センター	<ul style="list-style-type: none"> ○ 視聴覚ライブラリーにおけるDVD、ビデオテープ、プロジェクターなどの貸出し